

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 A D E K A

コード番号 4401 URL <https://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 城詰 秀尊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 法務・広報部長 (氏名) 菊池 永敏

TEL 03-4455-2803

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	117,043	15.2	15,690	42.7	16,620	50.2	10,710	47.8
2026年3月期第1四半期	101,600	3.5	10,996	26.6	11,064	13.7	7,245	6.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 20,357百万円 (99.1%) 2026年3月期第1四半期 10,227百万円 (△19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	110.10	—
2026年3月期第1四半期	71.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	576,089	380,525	55.8
2026年3月期	559,987	371,572	56.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 321,516百万円 2026年3月期 313,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	52.00	—	60.00	112.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	66.00	—	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	222,000	13.4	24,400	23.4	25,000	25.0	16,600	33.7	171.18
通期	462,000	10.9	50,000	20.1	50,000	16.9	32,000	14.8	329.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※1株当たり当期純利益は、最新の期末発行済株式数(2026年6月末。自己株式を除く。)を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	98,944,242株	2026年3月期	103,768,142株
------------	-------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,968,176株	2026年3月期	5,910,048株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	97,282,257株	2026年3月期1Q	101,736,342株
------------	-------------	------------	--------------

(注) 1 当社は株式給付信託（J-ESOP）制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の上昇や物流への影響がみられ、先行き不透明かつ不確実性の高い状況が続きました。一方、各国における財政・金融政策やA I 関連を中心とした設備投資の拡大などにより、総じて堅調に推移しました。

このような情勢のもとで、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

連結経営成績

(単位：億円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	1,170	1,016	154	15.2
化学品	628	523	104	20.0
樹脂添加剤	287	251	36	14.5
半導体材料	108	73	34	47.2
環境材料	232	198	33	16.9
食品	214	205	8	4.2
ライフサイエンス	310	271	39	14.6
その他	16	15	1	9.9
営業利益	156	109	46	42.7
化学品	101	63	38	60.9
樹脂添加剤	38	25	12	49.0
半導体材料	26	14	12	82.9
環境材料	35	22	13	60.1
食品	8	11	△2	△21.6
ライフサイエンス	44	32	12	36.9
その他	1	3	△1	△38.4
経常利益	166	110	55	50.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	107	72	34	47.8

注)金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

報告セグメント別の概況は3ページ以降のとおりです。

(化学品事業) 増収・増益

化学品事業を構成する樹脂添加剤、半導体材料、環境材料の概況は以下のとおりです。

① 樹脂添加剤 増収・増益

米国での住宅関連の堅調な需要やデータセンター投資の拡大を背景に、住宅内装材や電線被覆材向けに塩ビ用安定剤の販売が好調でした。また、食品包装材向けを中心に透明化剤の販売が好調に推移し、新製品「トランスパレックス」の実需化も進みました。さらに、プラスチック製品全般に使用される酸化防止剤の販売が好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 塩ビ用安定剤 (住宅内装材、電線被覆材) (好調) 酸化防止剤 (プラスチック製品全般) (好調) 透明化剤 (食品包装材)
営業利益	(+) 数量、為替、価格 (−) 固定費

② 半導体材料 増収・増益

A I 関連需要を背景とした先端D R A Mの生産拡大により、高誘電材料は主力製品、新製品ともに販売が好調でした。また、E U V露光装置の製造プロセスへの適用が拡大したことにより、先端フォトレジスト向け半導体リソグラフィ材料の販売が好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 高誘電材料 (先端D R A M) (好調) 半導体リソグラフィ材料 (先端フォトレジスト)
営業利益	(+) 数量、為替 (−) 固定費

③ 環境材料 増収・増益

エレクトロニクス分野では、半導体封止材向けに特殊エポキシ樹脂の販売が好調でした。モビリティ分野では、アジア、欧州および米国において自動車エンジンオイル向け潤滑油添加剤の販売が好調でした。生活産業分野では、グローバルで用途開発が進展し、特に米国での建築塗料や接着剤向けに反応性乳化剤の販売が好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 潤滑油添加剤 (自動車エンジンオイル) (好調) 特殊エポキシ樹脂 (半導体封止材) (好調) 反応性乳化剤 (建築塗料、接着剤) (好調) 光硬化樹脂 (ディスプレイ)
営業利益	(+) 数量、為替

(食品事業) 増収・減益

国内外で、食品の生産ロス削減や風味・口どけの向上に貢献する高機能練込素材およびプラントベース「デリプランツ」シリーズの販売が好調でした。一方、製菓向けショートニングなどの一部製品において、原料価格の高騰に伴う採算性を考慮した販売対応により数量が減少し、減益となりました。

○主要因

売上高	(好調) 高機能練込素材 (製パン等) (好調) プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ (ホテル、カフェ、レストラン) (堅調) ショートニング、マーガリン類 (製パン、製菓)
営業利益	(−) 数量

(ライフサイエンス事業) 増収・増益

北米では、ナッツや果樹向け殺虫剤の販売が好調でした。欧州では、東欧におけるばれいしょ向け除草剤の販売が好調でした。国内では、水稻向け除草剤をはじめとした主力品目の販売が好調に推移しました。

○主要因

売上高	(好調) 北米／殺虫剤 (ナッツ・果樹)、除草剤の原体 (好調) 欧州／除草剤 (ばれいしょ) (好調) 日本／除草剤、殺菌剤等 (水稻)
営業利益	(+) 数量、為替 (－) 価格、固定費

(2) 当四半期の財政状態の概況

連結財政状態

(単位：億円)

	当第1四半期 連結会計期間	前連結会計年度	増減	増減率(%)
資産合計	5,760	5,599	161	2.9
負債合計	1,955	1,884	71	3.8
純資産合計	3,805	3,715	89	2.4

注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

○主要因

(資産合計) 投資有価証券、商品及び製品の増加
(負債合計) 支払手形及び買掛金の増加
(純資産合計) 親会社株主に帰属する四半期純利益

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績および最近の業績動向を踏まえ、2026年5月14日に公表した第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しました。あわせて、第2四半期末および期末の配当予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(2026年8月7日)公表した以下のお知らせをご覧ください。

- 「2027年3月期 第2四半期(中間期)および通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」

<https://www.adeka.co.jp/ir/library/pdf/260807pe.pdf>

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,536	98,614
受取手形、売掛金及び契約資産	116,772	116,269
有価証券	8,993	8,992
商品及び製品	69,412	73,557
仕掛品	8,749	9,543
原材料及び貯蔵品	41,382	42,375
その他	14,085	13,065
貸倒引当金	△1,579	△1,616
流動資産合計	354,352	360,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,801	41,238
機械装置及び運搬具（純額）	36,792	36,445
土地	30,135	30,020
その他（純額）	24,019	24,556
有形固定資産合計	131,748	132,260
無形固定資産		
技術資産	3,241	2,980
顧客関連資産	2,007	1,967
のれん	757	744
その他	9,345	9,566
無形固定資産合計	15,352	15,257
投資その他の資産		
投資有価証券	49,745	58,467
その他	8,787	9,302
投資その他の資産合計	58,533	67,769
固定資産合計	205,634	215,288
資産合計	559,987	576,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,349	68,006
短期借入金	15,600	14,082
未払法人税等	4,638	5,143
賞与引当金	4,233	1,895
環境対策引当金	309	618
その他の引当金	200	22
その他	26,098	36,074
流動負債合計	115,429	125,843
固定負債		
社債	15,924	16,382
長期借入金	23,703	17,956
退職給付に係る負債	17,774	17,977
環境対策引当金	618	309
その他の引当金	445	442
その他	14,518	16,653
固定負債合計	72,984	69,720
負債合計	188,414	195,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,048	23,048
資本剰余金	20,463	20,288
利益剰余金	245,544	232,527
自己株式	△18,995	△4,498
株主資本合計	270,060	271,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,589	24,037
繰延ヘッジ損益	—	△27
土地再評価差額金	3,240	3,240
為替換算調整勘定	20,380	21,745
退職給付に係る調整累計額	1,166	1,155
その他の包括利益累計額合計	43,377	50,151
非支配株主持分	58,134	59,009
純資産合計	371,572	380,525
負債純資産合計	559,987	576,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	101,600	117,043
売上原価	72,649	81,614
売上総利益	28,950	35,429
販売費及び一般管理費	17,953	19,739
営業利益	10,996	15,690
営業外収益		
受取利息	559	716
受取配当金	372	393
持分法による投資利益	213	350
為替差益	221	839
その他	512	475
営業外収益合計	1,879	2,775
営業外費用		
支払利息	828	870
デリバティブ評価損	867	813
その他	115	161
営業外費用合計	1,811	1,845
経常利益	11,064	16,620
特別利益		
固定資産売却益	19	87
関係会社株式売却益	323	—
特別利益合計	342	87
特別損失		
固定資産廃棄損	127	215
特別損失合計	127	215
税金等調整前四半期純利益	11,280	16,492
法人税、住民税及び事業税	3,447	4,509
法人税等調整額	△815	△518
法人税等合計	2,632	3,990
四半期純利益	8,648	12,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,402	1,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,245	10,710

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	8,648	12,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	849	5,399
繰延ヘッジ損益	△29	△54
為替換算調整勘定	887	1,990
退職給付に係る調整額	0	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△129	541
その他の包括利益合計	1,579	7,856
四半期包括利益	10,227	20,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,100	17,484
非支配株主に係る四半期包括利益	1,126	2,873

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	52,371	20,553	27,132	100,057	1,543	101,600	—	101,600
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	46	17	1	66	3,191	3,257	△3,257	—
計	52,418	20,571	27,133	100,123	4,735	104,858	△3,257	101,600
セグメント利益	6,307	1,103	3,278	10,689	245	10,934	62	10,996

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額62百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	62,849	21,412	31,086	115,348	1,695	117,043	—	117,043
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	17	53	1	72	4,400	4,473	△4,473	—
計	62,867	21,465	31,087	115,420	6,096	121,517	△4,473	117,043
セグメント利益	10,146	864	4,489	15,500	208	15,709	△19	15,690

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	4,490百万円	4,804百万円